

中央区について

(関屋中学校区，白新中学校区，寄居中学校区，二葉中学校区，舟栄中学校区)

1 児童生徒数について

	平成 21 年度	平成 27 年度 (推計)
児童数	2,423	2,035
生徒数	1,378	1,286

平成 27 年度の生徒数は 1,286 人，中学校 2 校の規模である。

* 距離 白新中学校を中心として半径 3 キロメートルの円内に，寄居中学校区，関屋中学校区がすべて含まれる。(国の通学距離基準は中学校 6 キロメートル)

2 現在の審議状況

(1) まとまった方向性

中学校

ア 二葉中学校と舟栄中学校を統合する方向性

小学校

ア 浜浦小学校と関屋小学校を統合する方向性

イ 豊照小学校，湊小学校，栄小学校，入舟小学校を統合する方向性

(2) 審議会でのご意見と事務局の説明

白新中学校についての意見

ア 白新中学校は，平成 27 年度に 7 学級の小規模校であるため，方向性として，隣接中学校と統合する。

イ 西の端にある関屋中学校と統合するより，寄居中学校との統合がいいのではないか。

ウ 新潟小学校は寄居中学校に進学している。

また，鏡淵小学校と白山小学校が統合した場合，白新中学校に進学し，この地域の 2 中学校は，いずれも 1 小 1 中体制になる。

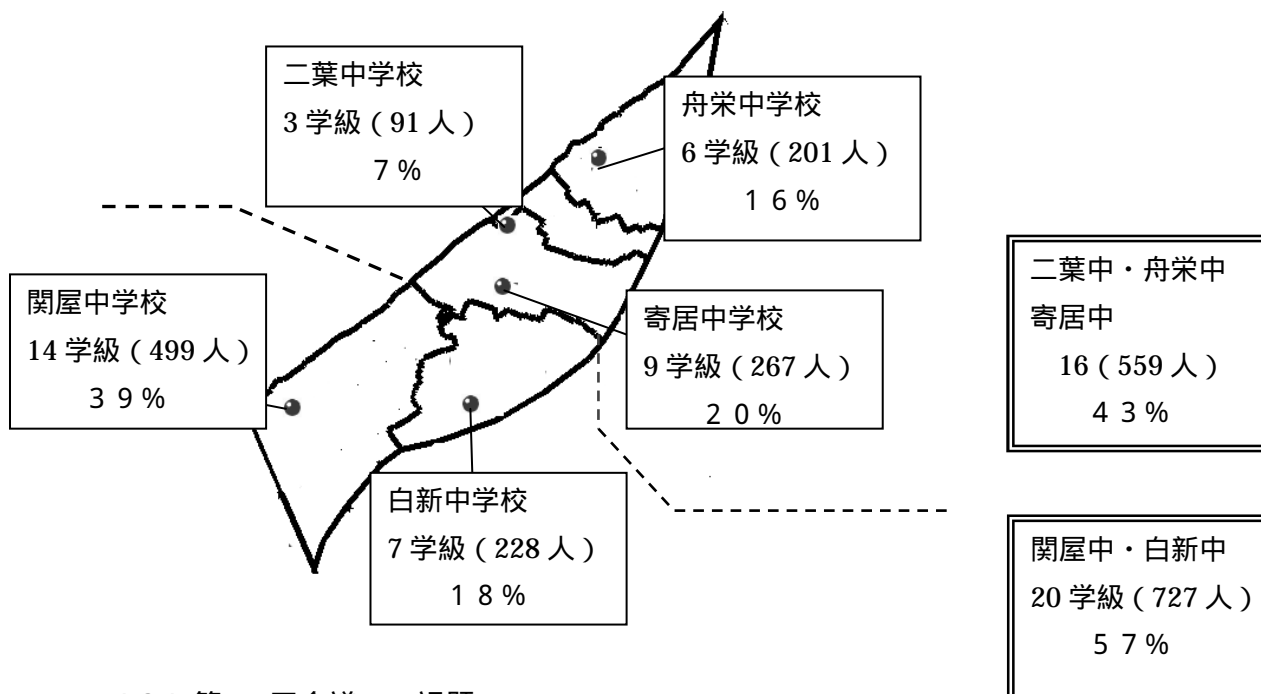
1 小 1 中体制を回避するため，白新中学校と寄居中学校と統合することは，自然。

鏡淵小学校と白山小学校についての意見

- ア 鏡淵小学校と白山小学校との統合は、規模・距離ともに問題ない。
- イ 白山小学校は神社や古町でつながっており、地の利や文化から考えると、新潟小学校との統合の方向ではないか。
- ウ 鏡淵小学校は、通級指導教室もあり、特別支援学級のセンター的な役割を担っている。
- エ 特別支援学級の設置は例えば、大規模校の結小学校にも、通級指導教室が設置されているように、学校の規模に関連はない。
- オ 特別支援学級があることで、学校運営的に問題はなく、むしろ通常学級の子どもたちにとって、教育的に効果がある。
- カ 審議会では通常学級で検討することを確認した。

事務局の説明

- ア 中学校は、将来的に2校、あるいは1校になっていくと思う。
二葉中学校と舟栄中学校だけの統合案では、早期に小規模校化する可能性がある。将来的に子どもが減少していくことを考慮すると、この地域全体のバランスからみて、関屋中学校は西の端にあるが、白新中学校と統合してはどうか。
- イ 白山小学校を新潟小学校に統合した場合、鏡淵小学校が7学級の小規模校のままになってしまうため、同じ白新中学校区の鏡淵小学校と統合してはどうか。



(3) 第10回会議での課題

白新中学校の方向性

鏡淵小学校と白山小学校の方向性